

2014 年度 環境活動レポート

対象期間

2013 年 9 月～2014 年 8 月

2014 年 11 月 21 日

昭和ネームプレート株式会社

環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること
- ② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

- 1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- 2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
- 3. 水資源の節水
- 4. 化学物質を正しく使用し管理する
- 5. 環境関連法規制等の遵守
- 6. グリーン購入の実施
- 7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

2014年9月1日

昭和ネームプレート株式会社

代表取締役 瀬田 昭男

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネームプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネームプレート・パネル・ラベルの製造及び販売
- (6) 事業規模 年間売上 約492百万円（2014年度実績）
従業員 35名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川 6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネームプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生 3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail kamiya@showa-np.com
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者
代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
管理責任者 管理部部長 神谷丈夫

環境目標とその実績

			2014年度 実績	2013年度 2012.9～ 2013.8 (実績) BM	2014年度 2013.9～ 2014.8 (目標)	2015年度 2014.9～ 2015.8 (目標)	2016年度 2015.9～ 2016.8 (目標)
二酸化炭素 排出量 削減	電力の削減	総量 (kWh / 年)	112165	113433	112298.67 (1%)	111164.34 (2%)	110030.01 (3%)
	ガスの削減	総量 (ℓ / 年)	38.5	67.1	66.4 (1%)	65.8 (2%)	65.1 (3%)
	ガソリンの削減	総量 (ℓ / 年)	9741.85	11251.58	11139.07 (1%)	11026.55 (2%)	10914.03 (3%)
	CO2の削減 (上記の合計)	総量 (t / 年)	65.131	69.200	68.508(1%)	67.816(2%)	67.124(3%)
節水	総排水量 削減	総量 (m ³ / 年)	631	470	465.30(1%)	624.69(1%)	618.38(2%)
廃棄物量の 削減	一般廃棄物 削減	総量 (kg / 年)	595.5	2012年度実績 585.6	579.8 (1%)	579.8 (1%)	573.9 (2%)
	産業廃棄物 の削減	総量 (kg / 年)	4570	4045.1	4004.6 (1%)	4004.6 (1%)	3964.2 (2%)
	段ボール の再利用	再利用率 (kg / 年)	リサイクル 率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
グリーン 調達 の推進	事務用品等の購入			現状購入品については少量であるが、長期にかけて 100%を目指す。			
製品への 環境配慮	①販売時の包装の簡易化 (品証) ②負荷の少ない工法 (製造) ③環境に配慮した原材料の購入 (管理) ④顧客へのアピール (管理)			各部の目標に向け、活動に繋げる。 長期的に数値化出来る様活動する。			

- CO2の削減は目標を達成したが、電力の削減率がギリギリだった為、当初の3ヶ年目標の2年目の目標数値を目指し2013年度実績(BM)から-2%の目標にする。
- 一般廃棄物は2年連続未達成だった為、2011年9月から2012年8月(2012年度)までの実績を基にBMを設定した。産業廃棄物は未達成だった為、2012年9月から2013年8月(2013年度)実績を基にBMを設定した。一般及び産業廃棄物は目標数値を修正し直した。削減率が年々厳しくなりつつあり、今後の活動内容が問われている。
- 水道は2ヶ月に1回の測定 今期は、水道管(φ数)及びメーター交換により数値に大きな変動が見られた。その為、新たに2014年度実績(BM)にし-1%を目標にする。
- この他に次のことに取り組みます。
 - ・化学物質を正しく使用し管理(棚卸し等)削減にむけて活動する。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2013年9月～2014年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

取り組み項目		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	電力・ガス・ガソリン等の削減	B.M に対し-5.9% 達成 1%目標に対し 達成率 106%	目標数値に対しては達成した。ガス、ガソリンの削減率が大きかった。ガスでは、使用する仕事が減った為と思われる。ガソリンでは社用車が1台減った為と思われる。今期も非常に厳しくなり活動が問われる時期と言える為、活動内容を見守る。
	総排水量の削減	B.M に対し+34.3% 未達成 1%目標に対し 達成率 65.7%	目標数値に対し未達成となった。水道管(φ数)及びメーター交換をした事が影響したと思われる。再度数値を見直し新たに BM を設定し様子を見守る。
一廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	B.M に対し+1.7% 未達成 1%目標に対し 達成率 98.3%	2年連続の未達成だった。管理部内の廃棄物が多かった為と思われる。今期は管理部の環境目標に掲げ活動し、削減に努める。
	産業廃棄物の削減	B.M に対し+13% 未達成 1%目標に対し 達成率 87%	目標数値に対しクリア出来なかった。原因として製造部で在庫整理し大量に廃棄した月があったためと思われる。今期は削減に対して、厳しいことが予想される。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
グリーン調達 の推進	事務用品等の購入	少量ではあるが目標に対し活動した。	長期にかけて100%を目指す。
製品への 環境配慮	①販売時の包装の簡易化(品証)	①各部内で検討と社外からの 情報提供依頼	①各部の目標に向け活動に 繋げる。 ②長期的には数値化出来る 様活動する。
	②負荷の少ない工法(製造)		
	③環境に配慮した原材料の購入(管理)		
	④顧客へのアピール(管理)		
<p>(総評) EA21 活動も8年目となり、結果だけを見ると達成できなかった目標が多数を占めた。本当に目標が正しいものなのか、あるいは、活動が飽和になってきているのか、次の1年が正念場であることは間違いないことである。どちらにせよ、抜本的な対策が求められているのは間違いない。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 瀬田昭男</p>			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等へのとおり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去 5 年間にわたって違反や訴訟は 1 件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 瀬田昭男

管理責任者 神谷丈夫

2014.10.1

